

くらき永田保育園便り



4月の予定		
1	金	入園を祝う会
2	土	
3	日	
4	月	慣らし保育開始
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	布団乾燥
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	久保先生わらべうた
22	金	
23	土	オンライン全体懇談会
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	昭和の日
30	土	

先週末18名の子どもたちが保育園を卒園していきました。堂々とした姿で卒園証書を受け取り、大きな声で歌う卒園児たちの成長した姿に涙が止まりませんでした。昨年度はコロナ禍と初めて経験する休園などもあり様々な制限の中での保育が続きましたが、子どもたちはそのような環境下でもしっかりと成長する姿を見せてくれることに希望を感じています。

そして、今月から、新しいお友達15名が新たに保育園の仲間入りです。くらき永田保育園は、これからも「大きなお家」として「子どもの最善利益」を常に考え保育にあたります。

暗いニュースが多い世の中ですが保育園からはハッピーな情報をどんどん発信できるよう職員一同笑顔で頑張っていこうと思います。

令和4年度は・・・

くらき永田保育園の一年のスタートは参加率90%を誇る『保育計画説明会とクラス懇談会』からスタートする風習がありましたが、昨年はコロナの関係もあり、職員からメッセージ動画を一方的に発信するしかできませんでした。今年度は4月23日（土）午前中にオンライン全体懇談会を開催します。保育園やクラスからの方針やお楽しみポイントをお伝えするだけでなく保護者間の懇談も行いたいと思います。

子どもは空気読みの名人

日本では相手の気持ちを汲んだり、察したり、以心伝心することが大事とするため「空気が読めない」ことが批判の対象になったりします。一方、その延長で忖度することが横行してしまうと別な問題が起きてしまうといった現状も耳にします。自分の本心よりも状況に合わせることを優先させようとする文化は日本以外にはないと言われています。子どもの世界ではどうでしょう？ 乳幼児期は大人よりも空気を読みながら生きている事実は意外と知られていません。自分の力だけでは生きていけないことを子どもたちは知っていますので大人の意向や期待にとっても敏感なので厳しかったり怖かったりが続くと自分の気持ちを押し殺しありのままの自分を表現できなくなってしまいます。くらき永田保育園では「ありのままの」気持ちを尊重していくことで自己肯定感を高めていく保育を大切にしています。

木育係

木育係は、『サイエンス』～科学するココロを育てる～ことを大切に沢山の体験をしていきます。今までも様々な自然や物に触れて「何だろう？」「不思議だな」と五感を大切にしてきましたが、今年は“その先！”日々の遊び（探究）から「どうして？」「なんで？」「よし！やってみよう」と子どもの湧き上がる気持ち、行動が変わるような体験や環境作りをして『ココロ』を育てていきたいと思っています。

食育係

今年度のテーマは、「食べ物に関わる人との繋がりを大切にする」と「乾物を活用した防災食の充実」です。コロナ禍、風水害、地震といったリスクが身近にある生活の中でも、食べ物に関わる人たち（給食室、業者など）との繋がりを大切にしながら、子どもと縁遠いと思われる乾物を繋げていきたいと思っています。寒天、切り干し大根などなどどんな保育になるのかお楽しみください。

遊言育係

今年度の遊言育係では、保育園のテーマの1つでもある『SDGs』を一つの柱として活動していきます。新聞や使わなくなったペットボトルやお菓子の箱、家庭にある使っていないものなどの廃材を手作り玩具の素材にしたり、子どもたちの造形活動の道具にしていきたいと思っています。そこで皆さんにもそういった家にあっても使わないモノ、または職場の中で廃棄されるモノなどを募集していきたいと思っています。「これは使えないかも」と思うようなものでも、子どもの発想次第でどんなものでも玩具になり得るので、ご協力お願い致します。